今週の富大生

Weekly TOMIDAISEI

第45号

工学部　工学科
知能情報工学コース
3年
京都府立峰山高等学校
（京都府）

興味をもったことに全力で取り組む

子どもの頃に見たアニメがきっかけ

10歳の時に「サマーウォーズ」というアニメ映画を見ました。インターネット上の仮想世界をテーマにした作品で、「どうやって仮想世界を作るんだろう？」という漠然とした疑問を持ちました。その疑問がきっかけで理系全般に興味を持ちました。

自分でやってみてわかる、向き不向き

高校受験の時、高校卒業後の進路について、進学するか就職するか決めていませんでした。どちらを選択するにしても、強みを持ちたいと思い峰山高校の機械創造科を選びました。実際に高校で学び始めると、英語の勉強や座学は楽しいのですが、機械加工は合わないなとわかりました。慎重になりすぎてなかなか進みませんでした。
部活動は、工業系の機械・電気・制御のすべてが経験できる“ロボット研究部”に入りました。部活を通して、システムやプログラミングなどの「形にはこだわらないモノづくり」ができる、情報系の学問分野に強く惹かれました。

研究内容と立地で大学選び

情報系のことをもっと学ぶために大学に進学すると高2の秋に決めました。いろいろな選択肢がありました。国立大学工学部　情報系学科のウェブサイトを片っ端から検索し、面白そうな研究室がある大学をピックアップしました。その中でも富山大学工学部の知能情報工学コースの量子情報研究室の研究に惹かれました。私の実家は海の近くだったので、海が近く市街地へのアクセスも良いという立地にも魅力を感じ、富山大学工学部を受験し、進学することに決めました。

1年次から実習に取り組める環境

入学すると、1年前期からプログラミング実習があります。アプリを作ろう、データの解析をしよう…と、徐々に専門性に近いものになっていきます。手を動かすことで、知識と技術が身につくのでモチベーションになります。

幅広い活動から見えた、やりたいこと

実は、高校受験の時に「中学生として頑張ってきたことが思いつかない！」と気づきました。そのため高校でも大学でも、勉強も課外活動も、興味を持ったら絶対に挑戦しようと思って、行動してきました。
大学では、富大祭運営委員会と関西春ロボコン運営委員会、それから富山大学のスマートポリネーター（※）に取り組んでいます。
いずれも、学外の大人とコミュニケーションをとる機会が多くあります。活動する中で、「人と会話を交わしながら相手の求めるものを提案することが楽しい」と実感しています。
これまでの工学系の知識をもとに、技術営業職として相手が望むものものを聞き出し、要望にマッチするものを提案していくような仕事に携わりたいと考えています。
※理工系女性研究者育成及び次世代を担う女子中高生に対する理系進路選択を促すことを目的とした活動を行う

お世話になった高校の先生へ

クラスに女子1人という特殊な環境の中で、学業・部活動・資格取得のすべてに全力を取り組むことができたのは、先生方のご支援があってこそです。ありがとうございました。
峰山高校での経験は間違いなく私の土台になっており、おかげで現在とても充実した日々を送っています。

Vol. 45

取材日：2025年4月21日